

初めての定期試験、鳳凰祭…

第3号 2022年6月1日(水)

入学して、まもなく2か月が過ぎようとしています。年度初めの行事もやっと一段落し、落ち着いて学習や諸活動に取り組める時期になりました。西高での生活にもだんだん慣れてきたことと思いますが、ここで一度、これまでの自分の生活を振り返ってみてください。良かったところはどこですか？逆に改善すべきところはありませんか？二者懇談でも担任の先生からアドバイスがあったと思いますが、毎日起きる時間、眠る時間、そして学習を始める時間、この3つをしっかりと定め規則正しい生活を送ることが、この先の高校生活を充実したものに導く鍵となります。早く高校生としての生活リズムを確立するようにしてください。

さて、すでに5月30日(月)から高校入学後初の定期試験が始まり、本日〔6月1日(水)〕で3日目となります。これまでの手ごたえはいかがですか？1年生の段階では、試験問題も基礎・基本がどれだけ定着しているかを測る部分に主眼が置かれます。難しい応用問題に手をつける前に、まずは基本事項を確実におさえることを目指してください。そして定期試験に限らず全ての試験において重要なことは、終了後「やりっぱなし」にしないことです。試験が終わったらまずは解き直しを行い、分からないところや納得のいかないところはすぐに解決することを心がけてください。もし自分だけで解決できない場合は、友達同士で教え合ったり、教員に質問してみることも大切です。

定期試験が終わると「鳳凰祭」がやってきます。各クラス・ブロックが力を結集して、知恵と技とパフォーマンスを競う西高最大の行事です。企画・立案から準備作業と大変な道のりです。悩んだり、失敗したり、意見が衝突したり、思うようにいかないこともたくさんあると思いますが、みんなで協力して乗り越え、自分たちの手で「鳳凰祭」を作り上げてください。成し遂げるまでの苦労が大きければ大きいほど、みんなの心に刻まれる感動も大きいはずですよ。

新2年次の履修登録

1年次のこの時期から来年度の履修計画を考えていきます。今回(6月16日提出)の履修登録(仮登録)では、文系へ進むのか理系へ進むのか、またはIBフルディプロマを選択するのかIB科目の単科履修を選択するのかを考えてもらうことで、受験に必要な教科・科目を調べることがねらいです。これをもとに11月には、履修登録(本登録)を最終確定します。5月9日(月)のLHRの時間に説明用紙の配布、履修登録とIBについての説明も既に行われました。それをもとに、西高の履修のしくみや大学受験のしくみ(受験科目など)を理解して、自分の進路目標実現に合った履修カリキュラムを作っていきます。

【6月行事予定】

A: A週 B: B週 行: 学校行事 を表します

日	曜	A/B	予 定	日	曜	A/B	予 定
1	水	行	第1回定期試験、蔵書点検(～6/8まで休館)	16	木	B	耳鼻科健診(1年次)、履修仮登録提出締切
2	木	行	第1回定期試験、ネットモラル教室(1年次)	17	金	B	夏季原付免許取得説明会
3	金	B	大学入学共通テスト模試(3年次)	18	土		
4	土		大学入学共通テスト模試(3)	19	日		
5	日			20	月	A	生徒会役員選挙公示、第1回生活実態調査
6	月	A	教育実習開始、進路ガイダンス(1年次)	21	火	A	
7	火	A		22	水	A	鳳凰祭前日準備
8	水	A	年次会議	23	木	行	鳳凰祭1日目(YCC県民文化ホール)
9	木	A		24	金		6月25日の振替休日
10	金	A		25	土	行	鳳凰祭2日目(本校)
11	土			26	日		
12	日			27	月	B	授業前清掃、インターハイ・総文祭・野球壮行会
13	月	B	第1回学校評議員会	28	火	B	
14	火	B		29	水	B	年次会議
15	水	B	職員会議、生徒協議会、第2回マナーアップ運動	30	木	B	職員会議

保護者のみなさまへ

現在、第1回定期試験の真っ最中で、ご子弟は勉強に励んでいることと思います。この結果は来週以降、それぞれの授業で返却されます。通知表として保護者の皆さまの手に届くのは、7月初旬となりますのでご承知おきください。試験結果は重要ですが、その試験に向けた取り組みがどれだけできたか、そしてその結果の振り返りが丁寧に出来るかによって、今後の学習成果は大きく変わってきます。ご家庭でも結果だけに左右されないサポートをお願い申し上げます。

6月6日から教育実習生が来ます！

➤4名の教育実習生はみんな西高の卒業生、皆さんの先輩です。高校時代のこと、大学生活について、いろいろなことを聞いてみよう！2週間または3週間、よろしくお願ひします！

- ①在学名（学部学科専攻）
- ②大学で研究している内容
- ③高校時代の部活動
- ④高校時代の思い出
- ⑤1年次生へのアドバイス

東條 正義（とうじょう まさよし）先生 実習科目：数学

- ①東京都立大学 理学部 数理科学科
- ②皆さんが今やっている微積分の延長にある偏微分方程式を研究していて、どちらかと言えば物理の力学や熱力学を数学の側面から扱っています。
- ③男子ソフトテニス部
- ④高校3年間とても充実した日々だったことをよく覚えています。課題が大変だったり、部活がきつかったり、授業が65分間で苦しかったのももちろん覚えています。今でも仲良くしている友達や自分だけの青春を得ることができたのは、僕のおかげがえのない宝物になっています。
- ⑤現在僕は大学生ですが、毎日が楽しくて仕方ありません。18年間山梨で育った僕には想像の余地すらなかったことですが、東京に出てまだ3年なのに世界が広がった気がしました。これは勉強を頑張った自分への褒美かなと思います。別に勉強だけを頑張れと言っているわけではなく、自分の好きだったりやりたいことのために必要なこと、例えば運動、特技、趣味、恋愛などなどを思いっきり楽しんでください。

若尾 尚幸（わかお なおゆき）先生 実習科目：物理

- ①東北大学 理学部 物理系 宇宙地球物理学科
- ②大学では、電磁気学的な手法を用いて、地面の下の構造（特に流体の存在）について調べる研究をしています。
- ③サッカー部でした。
- ④高校時代の思い出としては、3回の鳳凰祭は毎年すごく楽しく思い出に残っています。特に3年生の時の鳳凰祭は、モニュメント部門の部門長をやらせていただいたので、特に印象に残っている出来事でもあります。その他にも、部活動や修学旅行など高校生だからこそ経験できたことは、今でもすごく印象に残っています。
- ⑤アドバイスとしては、一年次生だからということとは関係なく、高校時代はまずは楽しい思い出をたくさん作って、青春を楽しむことが真先に優先されてよいと思います。大学生になってから痛感しますが、高校生の眩しさは本当に凄まじくて、高校生での楽しさはその時その三年間でしか経験できなかったことだと気付かれます。まずは目の前のことを目一杯楽しむことが大事だと思います。

今津 奏大（いまづ かなた）先生 実習科目：英語

- ①青山学院大学 教育人間科学部 教育学科 人間形成コース
- ②私は教育人間科学部の教育学科に所属し、「乳幼児期から老年期への人間形成」というテーマのもと、社会学、歴史学、哲学、宗教学、倫理学、文化人類学、言語学をはじめとする幅広い学問的観点から、現代の私たちと「教育」の関係について研究をしています。
- ③野球部
- ④高校時代を振り返ると、本当に数え切れないほど多くの思い出が蘇ります。その中でも特に印象に残っているのは、当時所属していた野球部で臨んだ夏の山梨県大会で、全校応援をしていただいたことです。3年間苦楽を共にした野球部のメンバーと戦う最後の夏を、西高の友人、先輩方、後輩、先生方など、多くの方々にも熱く応援していただいたこと、またその全校の前で勝利を収めることができたあの試合は、今の私にとってこれ以上ないかけがえのない思い出です。数年経った今でも当時の野球部のメンバーと交流がありますが、集まった時は決まってこの試合の写真や動画を見返し、盛り上がります！
- ⑤私は、皆さんがこれから西高で過ごす3年間は、数年前の私の3年間がそうであったように、素晴らしいものになると確信しています。西高は高い目標を目指して切磋琢磨できるたくさんの仲間、それを全力で支えてくださる先生方で溢れる素敵な学校です。1年次生の皆さんが入学して数カ月が過ぎた今、卒業はだいぶ先のことに感じるかもしれませんが、しかしだからこそ、小さなことに妥協せず、1日1日を大切に頑張ってください！自分が熱中できるものに全力を注ぎ、大変なことでもたくさんあるかとは思いますが、西高という最高の環境を生かして、後悔のない3年間にしてください！

矢野 野乃花（やの ののか）先生 実習科目：英語

- ①東京学芸大学 教育学部 中等教育教員養成課程 英語専攻
- ②英語教育学
- ③体操部、陸上部
- ④鳳凰祭：バンド交換の文化はまだ残っているのでしょうか？記憶から消しかけていますが、毎年気合を入れてバンドを2個買うものの、鳳凰祭マジックなど起こらず、友達と交換していた気がします。今ではいい思い出です。
- ⑤焦らず深く学ぶべし！：言い換えると、その場しのぎの勉強は危険ということです。模試や小テストなどに向けて、「いまいち理解できていないけど、テストのためにとりあえず暗記しなきゃ！」と思った経験はありませんか？1年生のこの時期にギリギリで覚えてテストを乗り切ったとしても、2年後受験生になったときには忘れてしまうでしょう（実際に私がそうでした）。何事も説明できるくらい、しっかり理解した上で繰り返すを経て覚えていくと、この先長く定着する知識となります。